

表3 イオフルパン SPECT に影響を与える薬 (文献[13]より抜粋、ただし日本承認薬)

成分名	休業(日)	製品名	分類	効能
Paroxetine	5	パキシル	SSRI	抗うつ薬
Duloxetine	3	サインバルタ	SNRI	抗うつ薬
Escitalopram	8	レクサプロ	SSRI	抗うつ薬
Fluvoxamine	5	ルボックス	SSRI	抗うつ薬
Sertraline	6	ジェイゾロフト	SSRI	抗うつ薬
Imipramine	5	トフラニール	TCA	抗うつ薬
Clomipramine	21	アナフラニール	TCA	抗うつ薬
Pimozide	28	オーラップ	神経遮断剤	統合失調症治療薬
Memantine	5	メマンチン	NMDA 阻害	AD 治療薬
Ephedrine	~0.4	エフェドリン	NA 放出	気管支拡張剤
Phenylephrine		ネオシネジン	アドレナリン作動薬	ショック
Pseudoephedrine		プソイドエフェドリ	$\alpha 1$ による血管収縮作用	鼻炎
Methylamphetamine	3	ヒロポン	モノアミン放出と取込抑制	うつ、ナルコレプシー
Methylphenidate	2	リタリン	DAT 阻害	ADHD 治療薬
Mazindol	3	サノレックス	再取り込み抑制	食欲抑制薬
Modafinil	3	モディオダール	DA 再取込阻害	ナルコレプシー
Flunarizine		フルナール	Ca ²⁺ 拮抗薬	片頭痛薬、脳循環改善

補足：ドパミン系に作用する可能性がある以下の薬剤についても読影上注意が必要と思われる。(ただし、本改訂時に明らかな報告はない)

・ドパミン受容体への拮抗薬であるセロトニン・ドパミンアンタゴニスト(SDA)：リスベリドン(リスバダール)、オランザピン、クエチアピン、ベロスピロン、プロナンセリンなど

・ドパミン受容体部分作動薬であるドパミン系安定薬(DSS)：アリピプラゾール